

2012年5月17日

各位

積水ハウス株式会社

\*\*\*\*\*

**積水ハウス独自の高遮音床システム「SHAIDD（シャイド）55」**

**日本音響学会の第20回技術開発賞受賞**

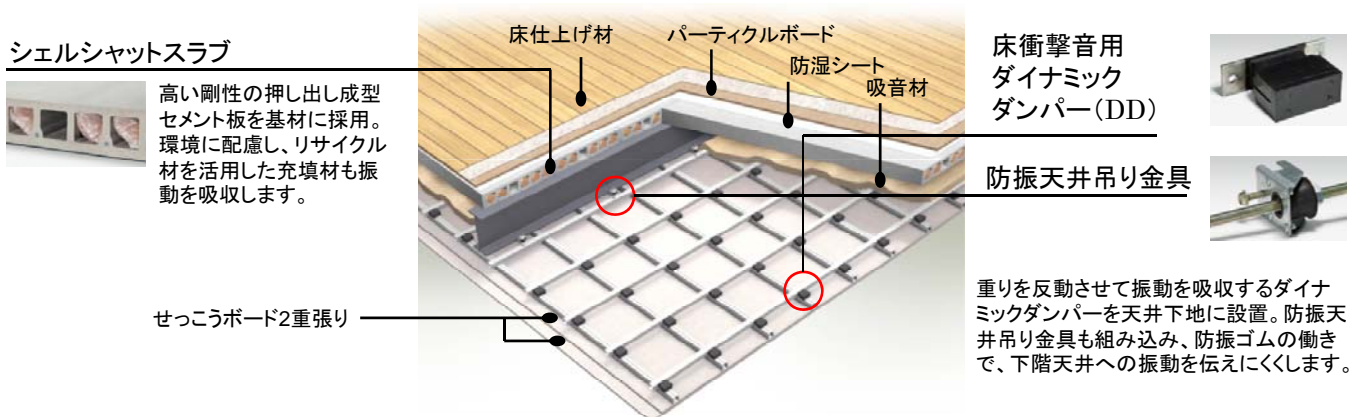
\*\*\*\*\*

積水ハウス株式会社（本社：大阪市北区、社長：阿部 俊則）は、低層賃貸住宅用に開発したオリジナル高遮音床システム「シャイド55」において、一般社団法人日本音響学会（所在地：東京都千代田区、会長：赤木 正人氏）の第20回技術開発賞を受賞しました。本賞は、音響に関する工業技術の進歩発展に特に貢献したと認められる個人、グループ、法人を表彰するものです。今般の受賞についての日本音響学会のコメントは以下の通りです。

建物の制振装置としても用いられるダイナミックダンパーを床衝撃音対策として利用する場合、装置のサイズ、重量ともに大きくなってしまいう問題点があり、実用化が困難であった。本技術は、このダイナミックダンパーを天井下地に組み込むことで、有効な重量床衝撃音の低減対策を実現している。ダイナミックダンパーを天井に組み込めるようにコンパクト化した技術は革新的かつ有効性が高く、またその設置個数により床衝撃音低減量を調整することも可能としている点など、実用性も非常に高い。住環境問題として解決が困難であった床衝撃音の低減を実現する本技術は、社会的意義も非常に高く、技術開発賞に値する。

「シャイド55」は、多くの入居者が不満を抱く「上階から聞こえる床の衝撃音」を低減するために、賃貸住宅の上階床下部に独自の特許技術を採用することで、上階からの床衝撃音を軽減することができる当社オリジナルの高遮音床システムです。押し出し成型セメント板を基材に採用した「シェルシャットスラブ」と、業界初の「天井設置床衝撃音用ダイナミックダンパー（DD）」と防振天井吊り金具を採用した「遮音DD天井」を組み合わせることで、一般的な鉄骨造の賃貸住宅における床の遮音性能「L-65」に対し、「シャイド55」は10dB（デシベル）ダウンの「L-55」を実現しました。一般的にデシベル値が10dBダウンすれば、“ドスン”という重量衝撃音や“コツコツ”という軽量衝撃音の聞こえ方は約2分の1になります。

積水ハウスは、この「シャイド55」を2010年9月から当社賃貸住宅において提案を開始し、これまでに全国で26,000戸（2012年4月現在）を超える賃貸住宅に搭載してきました。直近の受注では7割超の賃貸住宅に採用されています。今後も「シャイド55」を普及させることにより、賃貸住宅における音環境の大幅な改善とともに優良な賃貸住宅ストックの拡大に努めてまいります。



※L値は、上階の衝撃音が下階で聞こえる大きさを示す数値で、数値が小さいほど遮音性が高いことを表します。本リリースに記載した「L-55」はJIS（日本工業規格）の測定基準に基づく当社現場実測値で、プラン等によって差が出ることもあり、性能値を保証するものではありません。

※dB（デシベル）は、音の大きさを表す単位です。また、音の感じ方には個人差があります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞  
積水ハウス株式会社 広報部

(大阪)06-6440-3021 (東京)03-5575-1740

